

令和7年度「進路対策研究会」進路調査結果【抜粋版(更新)】

横浜市内在住の、①特別支援学校、支援学校に在籍する児童生徒、②サポート校、インクルーシブ校等に在籍する福祉的支援が必要と思われる生徒を対象にした進路に関する調査。

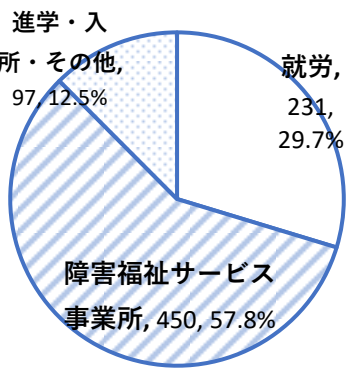
1. 特別支援学校等高等部卒業生推移・予測数 参照:資料1-1 P4

卒業年度	1982(S57)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)	2033(R15)	2034(R16)	2035(R17)	2036(R17)
							現高3	現高2	現高1	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
卒業生(人)	123	817	723	778	819	778	788	735	752	1135	1260	1235	1693	2024	2209	2128	2183	2064

- * 中学生以下は、個別支援学級(令和7年5月1日の統計数字【速報値】)を含む。
- ・特別支援教育が必要な児童・生徒は増加傾向で、2032年以降の予測人数は2000名を超えているため、今後どのように対応していくのか検討していくことが課題になる。
 - ・現高1の予測数が昨年度から減少している理由として、フリースクールやサポート校、通信制高校といった多様な進学先を選択できることが考えられる。

2. 令和6年度卒業生の進路結果 参照:資料1-1 P6

＜令和6年度進路先内訳＞ ＜進路先別推移＞



	H30年度卒	R元年度卒	R2年度卒	R3年度卒	R4年度卒	R5年度卒	R6年度卒
就労	31.6%	32.7%	30.1%	29.3%	28.5%	27.0%	29.7%
進学・職業訓練	8.2%	6.8%	8.0%	7.9%	11.7%	13.6%	8.1%
入所施設	0.4%	1.2%	0.7%	0.6%	0.4%	1.1%	0.8%
重度通所 *1	2.1%	1.6%	1.4%	1.9%	2.3%	1.4%	1.4%
生活介護	17.6%	17.3%	19.1%	18.0%	17.5%	14.3%	18.9%
自立訓練 *2	2.4%	2.1%	3.0%	2.8%	3.6%	2.8%	4.0%
就労移行	9.2%	9.0%	8.1%	9.7%	8.4%	9.1%	7.1%
就A・就B	13.8%	16.1%	19.6%	17.4%	18.3%	19.7%	20.4%
作業所型	5.3%	3.5%	2.6%	3.6%	2.2%	2.4%	1.4%
活H	4.3%	4.7%	3.5%	4.8%	3.2%	5.3%	4.6%
その他 *3	5.1%	5.0%	3.9%	4.0%	3.9%	3.3%	3.6%

- *1: 重度通所: 重度重複通所、*2: 自立訓練: 機能訓練・生活訓練 *3: その他: 在宅等
- ・B型事業所の中には、在宅や送迎が可能なところも増えてきている。そのため様々な実態の生徒の進路選択肢が広がり増加傾向になっている。
 - ・自立訓練は、近年不登校を抱える生徒も受け入れる事業所も増えている。就労移行等もある多機能型事業所もあり、進路先を選択する上で保護者の安心感に繋がっていることも考えられる。

＜高校1～3年生時点進路希望との比較＞

	就労	進学・職業訓練	入所施設	障害福祉サービス事業所内訳									その他 ※3
				重度通所 *1	生活介護	自立訓練 *2	就労移行	就労A	就労B	作業所型	機能強化H	法人活H	
高1時点の希望	39.1%	8.2%	0.4%	1.2%	21.7%	0.8%	7.1%	1.0%	15.8%	1.8%	0.1%	1.6%	1.2%
高2時点の希望	38.2%	7.2%	0.5%	1.2%	17.5%	2.2%	4.8%	1.0%	21.6%	0.8%	1.0%	1.7%	2.3%
高3時点の希望	34.6%	11.3%	0.4%	1.6%	16.2%	1.9%	6.2%	1.0%	17.4%	1.3%	2.3%	3.1%	2.9%
進路結果	29.7%	8.1%	0.8%	1.4%	18.9%	4.0%	7.1%	0.9%	19.5%	1.4%	2.3%	2.3%	3.6%

* 1: 重度通所: 重度重複通所、* 2: 自立訓練: 機能訓練・生活訓練 * 3: その他: 在宅等

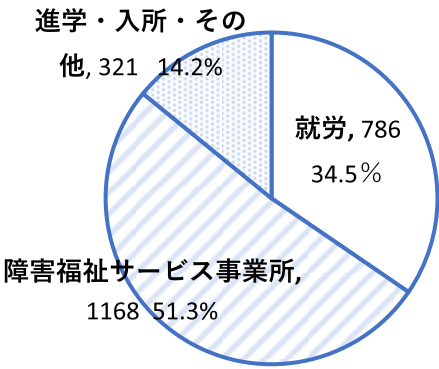
* 高 1～3 年生時点の進路希望は、令和4年度～6年度進路調査結果から抜粋。

・ 進学・職業訓練の増加に関しては、インクルーシブ校の生徒の引き上げが関係しているか。

3. 高校 1 年生から高校3年生までの進路希望

参照: 資料1-1 P7

<令和7年度進路希望内訳> <事業種別内訳>



	就労	進学・ 職業訓練	入所施設	障害福祉サービス事業所内訳									その他 ※ 3
				重度通所 * 1	生活介護	自立訓練 * 2	就労移行	就労A	就労B	作業所型	機能強 活H	法人活H	
高 1	31.6%	6.1%	0.5%	0.7%	22.3%	1.2%	7.2%	0.5%	21.0%	0.5%	0.5%	0.4%	7.3%
高 2	37.4%	7.5%	0.5%	1.8%	18.4%	2.0%	7.3%	0.3%	19.0%	0.7%	0.7%	1.2%	3.1%
高 3	34.6%	10.8%	0.4%	2.0%	13.6%	3.4%	4.9%	0.9%	16.5%	2.0%	1.1%	3.8%	5.8%

* 1: 重度通所: 重度重複通所、* 2: 自立訓練: 機能訓練・生活訓練 * 3: その他: 在宅等

- ・ 昨年度と大きな変化はない。
- ・ 専門や大学受験の方法が多岐に渡っているため、近年、進学者が増えている。
- ・ 今年度 10 月から開始する就労選択支援による推移を注視していく必要がある。

<高 1～高 3 居住区別人数と令和8年度新規受入人数>

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	合計
高１～高３		182	111	31	92	122	129	121	215	98	121	161	118	126	123	211	82	127	105	2275
うち高３		54	32	11	35	40	39	50	72	25	38	64	43	46	49	67	34	47	42	788
令和8年度 新規受入人数　＊１		127	192	106	329	76	86	128	140	108	97	126	122	97	138	193	17	262	123	2467
【内 訳】	障害者支援施設	4	0	0	0	0	0	5	0	0	6	7	0	0	0	0	2	2	0	26
	生活介護	15	17	2	3	14	40	36	50	25	18	26	50	18	21	64	5	131	46	581
	訓練	5	8	38	0	0	0	22	0	0	5	1	1	0	0	0	0	0	0	80
	就労移行	24	72	23	110	0	0	26	6	4	29	39	0	9	18	27	0	6	8	401
	就労A	19	20	4	15	0	2	0	3	3	0	9	0	0	13	0	3	3	0	94
	就労B	41	31	22	170	35	34	22	51	34	16	38	47	65	59	66	2	102	53	888
	作業所型	13	13	0	26	7	6	14	9	6	8	1	5	0	8	2	4	14	1	137
	精神作業所型	0	22	15	2	18	0	2	18	34	11	3	19	2	16	30	0	0	15	207
	機能強活H	5	3	2	3	2	4	0	0	2	4	2	0	1	0	0	1	4	0	33
	法人型活H	1	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	4	0	0	0	17
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

* 1: 「令和 8 年度新規受入れ状況調査」から抜粋。【内訳】は週 1 名からの受入を含む。

- ・ 事業所の新規受け入れ人数は区によってばらつきはあるが、全体数としては減少している。区によっては、高 3 人数と新規受入事業所が足りていないため、引き続き居住区外の事業所を進路先とする場合も考えられる。